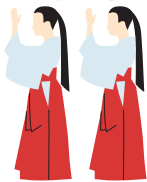




往馬大社の拝殿と、ご神木の上溝桜（左） 生駒市言分町で

# やまおかの 神さま



往馬大社は生駒谷の中

央に位置し、生駒山を  
神体として、人々が住み  
始めた太古から守り神と  
して鎮座していたと考え  
られます。

「総国風土記」による  
と、458(雄略天皇3)  
年、伊古麻都比古神と伊  
古麻都比売神を祭ったと  
され、鎌倉時代に八幡信

## 往馬大社 (生駒市)



仰が興隆し、現在は7柱  
の神を祭っています。古

# 火の神 生駒山がご神体

(住所) 生駒市言分町1527の1  
(祭神) 伊古麻都比古神や伊古麻都  
比売神など7柱  
(交通) 近鉄生駒線・一分駅から徒

歩約5分  
(拝観) 境内自由  
(駐車場) 有り(無料)  
(電話) 0743・77・8001

くから火の神としてあが  
められ、本殿と拝殿の間  
には、ご神木の上溝桜  
があります。

大嘗祭(天皇が即位し  
て初めての新嘗祭)に供  
える米を育てる田を東西  
から一つずつ選ぶ「斎田  
点定の儀」で、火おこ

しに使う「火燧木」に上溝  
桜の枝が献上されます。  
毎年、体育の日の前日  
に催される例大祭「火祭  
礼を仕切る「弁随」によ  
る舞や巫女神楽が奉納さ  
れます。この行事は県の  
無形民俗文化財に指定さ  
れています。

また、境内の森は「往  
馬大社の社叢」として県  
の天然記念物になってお  
り、太古から変わらぬ自  
然が守られています。(奈  
良まほろぼソムリエの会  
副理事長 小野哲朗)